



2025年5月30日

各 位

会 社 名 株式会社プレミアムウォーターホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 金 本 彰 彦  
(コード番号 : 2588 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 経 営 管 理 本 部 I R 部  
電 話 (TEL. 03-6864-0989)

## グリーンローンによる資金調達 (SBI新生銀行) に関するお知らせ

当社は、2025年5月30日、株式会社SBI新生銀行（本社：東京都中央区、代表取締役社長：川島克哉、以下、「SBI新生銀行」といいます。）から、「新生グリーンローン」（以下、「本ローン」といいます。）による資金調達を実施いたしましたので、お知らせいたします。なお、本ローンは当社にとって初のグリーンローンとなります。

「新生グリーンローン」とは、明確な環境改善効果が認められる事業に資金用途を限定したローンであり、2020年5月にSBI新生銀行が策定した、「SBI新生グループグリーンファイナンス・フレームワーク」に適合するファイナンスです。新生グリーンローンやSBI新生グループグリーンファイナンス・フレームワークについては、下記URLをご確認ください。

[https://www.sbishinseibank.co.jp/institutional/sustainable\\_finance/green/](https://www.sbishinseibank.co.jp/institutional/sustainable_finance/green/)

この度、当社の事業が「SBI新生グループグリーンファイナンス・フレームワーク」と整合性があると評価され、グリーンローンとしての実行にいたりました。本件による調達資金は、岐阜北方工場でのホットパリソン法（※1）を用いたペットボトル製造に係る設備の取得代金として充当します。

### 記

<グリーンローン評価の概要 (SBI新生銀行サステナブルインパクト評価室) >

借 入 人	株式会社プレミアムウォーターホールディングス
組 成 金 額	11 億円
資 金 用 途	岐阜北方工場でのホットパリソン法※1を用いたペットボトル製造に係る設備（「本設備」）の取得代金
実 行 日	2025年5月30日

本プロジェクトの意義：エネルギー効率化（省エネ設備）

本設備の導入により、従来採用していたコールドパリソン法の製造と比較してペットボトル 1 本製造あたりのエネルギー使用量の削減量は 0.051kWh、削減率は 26.8%（※2）が見込まれる。

本件がもたらす社会的インパクトと社会的課題との整合性：SDGs では主に「目標 7：エネルギーをみんなに そしてクリーンに」、「目標 9：産業と技術革新の基盤をつくろう」に貢献すると評価。また、日本政府は「GX2040 ビジョン」や「第 7 次エネルギー基本計画」等において省エネルギーを重要分野として位置付け、支援等を推進していることから、国の方針とも整合する。

本ローンに関するその他の評価ポイント

- ・省エネルギーによる環境負担低減を目指し、自社での技術開発等を通じてホットパリソン法に依る製造に伴う主要なデメリットを克服したうえで本設備の導入を行った。また、これにより、一般的なホットパリソン法の導入と比較してプラスチック使用量及び廃棄量の削減にも繋がっている。
- ・岐阜北方工場の新設にあたり、終焉の地下水への影響に関する調査や住民説明会を実施し、また岐阜北方工場の位置する北方町と災害時の飲料提供協定を締結する等、地域への配慮に注力している。

※1 ペットボトルの製造は主に以下の 2 段階から構成されます。

①PET 樹脂を加熱・溶解、射出成形しペットボトルの原型（プリフォーム）を成形する工程、

②プリフォームの内部に空気を吹き込んで膨らませてペットボトルを成形する工程（ブロー成形）

「ホットパリソン法」では、これらの 2 工程を同一設備内で行い、射出成形時の余熱を活用してブロー成形を行います。

一方、「コールドパリソン法」では、射出成形後プリフォームを冷却し、別の施設に運搬したうえで再加熱し、ブロー成形を行います。

※2 コールドパリソン法を導入している当社グループの工場（西桂工場及び富士吉田工場）における 2025 年 4 月 7 日の測定値とホットパリソン法を導入している岐阜北方工場（本件）における 2025 年 4 月 8 日の測定値を比較し算出した値。測定値にかかる算出方法及び測定結果について、第三者技術コンサルタントによって妥当性が評価されております。

今後も当社グループは、脱炭素社会の実現に向けた環境保全と利益創出の両立を重要なビジョンの一つと捉え、天然水という日本の資源を継続的に守り、育むために取組みを行ってまいります。水資源を使用する者の責任として、SDGs の達成に向けて取組み範囲を拡大させ、積極的に社会責任を果たしてまいります。

以上

---

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社プレミアムウォーターホールディングス

経営管理本部 IR 部 Tel：03-6864-0989

（受付時間：平日 午前 10 時から午後 7 時まで）